

わたしたちの生活と住まい

東広島市立黒瀬中学校

実施学年：2年
 生徒数：241人（6学級）
 実施教科：家庭科
 実施時間数：6時間



☆東広島市のモデル住宅へサザエさん一家に転居してもらうためにはどうしたらいいかな？

学習のねらい

- 1 家族が住むために必要な住まいの機能を理解する。
- 2 家族が健康で安全、快適に住むために、室内環境の整備に関する具体的な方法を理解し、よりよい住み方を工夫し実践につなげることができる。

学習活動

- 1 日本各地の住居写真をもとに、地域ごとその気候・風土に合わせた造りになっていることを発見する。（北海道の二重玄関、沖縄の石垣や平屋建て など）
- 2 たたかい家族のコミュニケーションをつくる場としての住居は、どのようにすれば実現できるのか予想を立てて考える。（ Plan → Do → Check → Action ）
- 3 家族の誰もが「心地よい！」と感じられるのは、どのような住居なのか考える。
- 4 阪神淡路大震災を事例にとり、人々の復興へのエネルギーや今後も起こりうる災害から身を守る住居を考える。
- 5 東広島市内のモデル住宅に「サザエさん家族を迎えるとしたら？」と題して生活者中心の家を考える。（情報の活用）

準備品

日本各地の住居写真
 ワークシート
 ビデオ「プロジェクト X 挑戦者たち 鉄道分断 突貫作戦 奇跡の74日間 ～阪神・淡路大震災～」
 モデル住宅のパンフレット
 ホワイトボード

実施場所

家庭科室

学習の流れ

場所・授業数	概要	活動の様子	反応
<p>家庭科室</p> <p>1 時間</p>	<p>住まいのはたらきとは何だろう</p> <p>1 住まいの例から、その特徴とそこに生活している人の住み方を考える。</p> <p>2 役割や基本的な機能を考え、まとめる。</p> <p>3 日本各地の住まいと住み方の特徴をまとめ、和風住宅の良さを考える。</p> <p>4 住居はそれぞれの気候風土によって異なることを知る。</p>	 <p>住居学習は楽しいよ！</p>	<p>●和風建築の工夫点について</p> <p>縁側「玄関だけでなく出入りしやすい。」「近所の人とコミュニケーションをとりやすい。」「庭を見るために良い。」「冬暖かく夏涼しい。」など日本の気候に適している</p>
<p>家庭科室</p> <p>1 時間</p>	<p>家族と住まいのかかわりを考えよう</p> <p>1 家族の生活と住み方のかかわりについて考える。</p> <p>2 生活行為と住空間の構成について理解する。</p> <p>3 家族の構成や生活によって住み方がちがうことに気づく。</p>	 <p>前時の振り返りによって学習内容の定着をはかる</p>	<p>●すまいにはどんなに広くてもどんなに狭くても、使う目的に応じて5つの空間にわけられることがわかった。</p> <p>「広い家も狭い家もお風呂の広さはあまり変わらないよ。」</p>
<p>家庭科室</p> <p>1 時間</p>	<p>家族が集まる場所を快適にしよう</p> <p>〔例〕あたたかい家族のコミュニケーションをつくる家とは？</p> <p>Plan</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告を利用してキャッチコピーから心地よい住まいにはどのような条件が必要か考える。 <p>(仮説をたてる・情報の分析)</p> <p>Do</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボードにまとめて発表する。 <p>Check</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表による全体交流からだれもが住みやすい住まいの条件を理解する。 <p>Action</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の自分の家族を想定して平面図を書いてみる。 	 <p>新聞に入っている住居広告に書かれている文章や写真などを調べてみよう。</p> <p>「パンフレットからキャッチコピーを見つけよう！」</p> <p>住宅メーカーが消費者に伝えようとしているものは何だろう。</p> <p>Check：だれもが住みやすい家は住む家族が主人公になっている。</p>	<p>●いろいろな広告があり、将来住んでみたい家の広告をじっと見ていた。</p> <p>●家の間取りだけでなく地域によって土地付き住宅の価格に大きな差があることに気づいた。</p> <p>●住宅メーカーが消費者に伝えたい内容は、字体を変えたり、フォントを大きくして見えやすくしている工夫を発見した。</p>

場所・授業数	概要	活動の様子	反応
家庭科室 1 時間	健康で心地よく住むために 1 健康で心地よく住むための室内環境の条件をまとめる 2 自分の生活の中で具体的に改善する方法を考える		<p>●広告に書かれていキャッチコピーが、心地よい室内環境の条件にすべて当てはまっていることに気づいた。 (明るさ・温度・湿度・音)</p>
家庭科室 1 時間	安全に住むにはそうしたらよいか 1 家庭内の自己の種類とその原因について知る。(グラフ)。 2 家庭内で安全に住むための室内環境の条件を理解する。 3 自分の生活で具体的に危険な箇所がないか点検する。 4 危険な箇所を改善する方法を考える。	 <p>もし今日の下校途中に足の骨を折る事故にあったら・・・</p>	<p>●家庭内の事故死亡率の高さに驚いていた。 ●車いすに乗ることになると仮定し、「介助を必要としないで今晚自分のベッドで寝られるかな？」イメージすると、バリアフリーの家にすることの大切さに気づいた。</p>
家庭科室 1 時間	よりよい住まいと住み方を考えよう 〔例〕サザエさん家族が心地よく住まう家を考えよう Plan ・家族が集まる場所を心地よくする方法を具体的に考える。 Do ・サザエさんの家族が心地よい住まいになるためには、どのような工夫が必要か住宅展示場の平面図に付箋紙を貼る。 Check ・全体の交流を通して住みやすい住まいの条件をまとめる。 Action ・サザエさんの家族が住宅展示場に住むとしたらどのように改築するとよいだろうか具体的に考える。	 <p>東広島市にサザエさん一家が住んでくれるとしたら、どんな工夫が必要かな？</p>	<p>●サザエさんの家族の家族構成・趣味などを生徒はよく知っていた。モデル住宅が子ども2人と夫婦の4人家族をターゲットにしている間取りのため、7人家族(拡大家族)のサザエさんの家族には部屋数が少ない。そのため何ができるか考えた。部屋を間仕切りして増やす。ウッドデッキにガラス戸をはめて波平さんが囲碁をする縁側を作る。吹き抜けに床を張って部屋を増やす。など。</p>

生徒の作品



<付箋記入例>
 ・1階のデスクを部屋にして縁側にすれば波平さんの趣味の囲碁をすることやフネさんの趣味の縫い物をする場所ができる。
 ・吹き抜けに床を張ったら部屋が1つできて、将来はわかめちゃんとカツオ君を別々の部屋にしてあげられる。
 ・畳部屋がないので、1階のリビングに畳を敷けばお年寄りのための寝室ができる。



先生の声

実施に当たり工夫した点 苦労した点

- 生徒にとって「住居」は毎日の生活に欠かせないものであるが、日頃意識をしていないため、それぞれの項目において、具体的な例を挙げて説明を行った。
- 平面図の見方については、教科書で取り扱わないようになっている。そのため、モデル住宅の平面図を理解するために、長期休暇を利用して平面図の読み取りができるように、手引きを使って自主学习をさせた。

生徒の反応

- 日本の風土・気候にあわせた和式住宅の特徴をまとめたときに、春夏秋冬によっていろいろ工夫されていることに驚いていた。
- 日本の伝統的な建築様式の住居と団地内の住居の違いを理解できた。
- 「住まい」は住む人が主人公であり、日々住む人の成長にあわせて進化することについて理解できた。
- 自分の将来の家族とその住まいについて考えながら、興味深く学習していた。

教師の変化

- これまでの家庭科は、「食物」「被服」「消費と環境」などの授業に重きを置いていたが、予想以上に生徒は「住居」学習を楽しんでいた。
- ここちよい住まいにするための工夫を考えると、同じ間取りの住宅でも整理された家とゴミが散らかった家に分かれることがあり、それは家族のコミュニケーションが大切であることに結びつけて説明することができた。